

学びの広場

学校の防災マニュアル見直し

新たな避難場所指定 / “近助”の重視

町内の幼稚園、小・中学校は、東日本大震災の発生で見えてきた課題から、平成23年度に、今までの「防災マニュアル」(災害が発生した場合の行動指針)を見直し、今年度から新しいマニュアルをもとに運用しています。その中で、松田中学校の防災マニュアルを紹介します。

大きな見直しは3点

課題① 《学校待機》

東日本大震災が発生した日、交通機関の運行の見合わせにより、保護者等の帰宅が遅くなり、中学生と下の年齢の子どもだけで家で待っている状況が起きてしまいました(下段アンケート参照)。

見直し①

○災害時に、生徒を『学校待機』させる際の「判断基準」に、地震の震度、警報の発令等の他に、交通機関の運行状況や道路の通行止め等の状況も加えました。

○災害時の情報は、同報無線、あんしんメール、災害用伝言ダイヤル171で得ることとしました。

※災害用伝言ダイヤル171の体験利用は、町内全幼稚園、小中学校で実施しました

○生徒が帰宅した時間に、保護者または生徒より年上の家族が家にいましたか

いた	162人 (81%)
いない	38人 (19%)

○「いない」と回答した中で、保護者または年上の家族の帰宅時間は何時頃でしたか

午後6時前	28人	7時頃	3人
8時頃	2人	9時頃	1人
10時頃	1人	午前1時以降	1人
無記入	2人		

(松田中アンケートより)



集団下校の様子です

課題② 《避難場所》

避難場所については、校庭を指定していましたが、川音川、酒匂川が近くに流れていることを考慮し、第2、第3避難場所の指定を新たに行いました。

見直し②

- 第1避難場所 校庭(海拔54メートル)
- 第2避難場所 校舎屋上(海拔64メートル)
- 第3避難場所 町民文化センター方面(海拔72メートル)



課題③ 《近助・共助》

災害時に大切になってくるのが「地域での協力体制」であると言われています。学級や学年の懇談会は実施していましたが、地区ごとの懇談会は持っていませんでした。

見直し③

P.T.A本部役員の尽力により、授業参観の後に、「地区懇談会」を開催し、防災マニュアルについての共通理解、各地区に応じた防災の話し合いを行いました。



松田中学校 陸上競技400メートルで全国大会出場

真壁正平君 関東大会1位

松田中三年生の真壁正平君は、7月8日に三ツ沢公園陸上競技場で開催された、県中学陸上選抜大会400メートルで、51秒35の好タイムで1位になるとともに、全国標準記録を突破しました。

8月9・10日に群馬県正田醤油スタジアムで開催された関東中学陸上大会では、県大会の記録を0.8秒短縮し、50秒55という自己新記録で4位に入りました。

全国中学陸上大会は、8月21日に千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催されました。やはり全国のレベルは高く、惜しくも予選敗退となりました。



真壁君と齊藤先生

顧問の齊藤亮介先生は、「関東大会の際に、本人から『楽しい』という言葉を聞き、物おしせず力を発揮できる生徒だと感じた。また、自分が指導をした中でもベスト3に入る逸材」と話してくれました。なお、9月15日から開催される県地区中学校総合体育大会陸上大会での活躍も期待されています。

その際に、湯の沢地区からは、災害時には集団下校させないで、「すべて学校待機」にしてほしいという要望があり、学校も了承しました。また、親が不在時に、近所待たせてもらえる家、学校に迎えに行ってもらえる、「親同士の付き合い」が大切であることも再認識されました。

災害時「我が家の確認事項」

- 会社・学校の住所、電話番号
- 近所の人・親戚の電話番号
- 約束事項
 - ・避難場所は()
 - ・待たせてもらう家は()
 - ・携帯が通じないときは「171」

古事記の記述に起源があるとも言われますが、多種複雑な信仰要素をもっています。大まかに分類すると、その名のように

①【道の神、行路の神】、②【境を守る神】多くは村落(地域)の入口に祀られており、悪鬼邪神の侵入を防ぐ神とされます。

③【子どもを守る神】道祖神の立つ場所近くでは、小正月に子どもを主体とするドンド焼きが行われます。

④【夫婦和合の神、安産の神】性をかたどる色々な石像もあることからこのように言われます。

探訪 文化財 松田の歴史的な文化財

《歴史的な文化財》 松田の歴史的な文化財

委員 松田の歴史的な文化財



寄、宮地上地区道祖神

道祖神

数ある歴史的石造物の中でも一番ポピュラーなのは道祖神でしょう。とはいえ全国的に分布するわけではなく、甲信越、関東、東北に多く見られるようです。

その呼称も旧来は塞(さい)、さえの神と呼ぶ地域が多く、他に性の神、道祿神、手向けの神、岐神、八街の神、その他幾通りもあり、文章語としてまたは総称して道祖神といっています。

「子どもたちへ」

「今、いじめをしている人はすぐにやめてください」

いじめは決して許されません。いじめられている人は、傷つけられ、人間としての大切な権利を奪われています。

《今いじめを受けている人は、一人で悩まずに周囲の大人にすぐ相談してください》

あなたのそばには、あなたのこと大切に思っている人がたくさんいます。

《いじめに気がいたら、勇気をもって、学校の先生や保護者など周囲の大人に知らせてください》

いじめを見て見ぬふりをするのは、いじめを認めることになりません。「保護者の皆さんへ」

《お子さんの様子を注意深く観察し、気になることがあったら、学校や関係機関に相談してください》

家庭の中でも、いじめについて、よく話し合ってください。

【地域の方へ】

《いじめについて、地域の大人全員が当事者として向き合ってください》

子どもたちを守り、子どもたちができることを、「県民総ぐるみ」で取り組んでいきましょう。

平成24年7月26日

神奈川県青少年総合対策本部長 神奈川県知事 黒岩 祐治